

教育理念

本校は、生命に対する深い畏敬の念と豊かな人間性を基盤とし、地域の保健・医療・福祉の分野に貢献できる看護実践者を育成します。

また、学習者が看護専門職としての知識、技術及び倫理観を身につけ、個々人の持つ力を最大限に発揮できるよう支援することにより、将来にわたって看護の発展に寄与できる人材の育成をめざします。

教育目的

看護基礎教育で学んだ能力を基盤に生涯発達の見点に立って次世代を産み育てる喜びを伝え、その過程を支援できる助産実践能力を養う。

他者及び自己を尊重し、多様な価値観に対応できる人間性豊かな助産師を育成する。

教育目標

1. 各ライフサイクルにおける性と生殖に関する支援をするために必要な知識と技術と態度を育成する。
2. 科学的根拠に基づいたアセスメントができ、周産期の助産過程の展開ができる能力を育成する。
3. 安全に分娩介助ができる知識と技術と態度を養い、対象が持っている産む力を自ら発揮できるように支援する能力を育成する。
4. 保健・医療・福祉チームの一員として、他職種と連携及び協働をする能力を育成する。
5. 専門職業人としての倫理観を養い、対象と自己を理解する姿勢を育成する。
6. 多角的に物事を見る力を養い、母子保健活動に関する課題発見能力ならびに問題解決能力を育成する。

卒業生の特性

1. 科学的根拠に基づき、対象が自ら産む力を最大限に発揮できるような支援ができる。
2. 保健・医療・福祉チームの一員としての自覚を持ち、より良い次世代育成のための母子保健活動に貢献することができる。
3. 柔軟な発想や考え方をもち、常によりよい助産ケアを迫り自ら課題を発見し解決することができる。
4. いのちを護り育てる対象の多様な価値観や個別性を尊重することができる。